

令和5年度福岡市子どもプラザ事業運営団体選考に係る協議会 議事要旨
【東区三苦子どもプラザ、東区東浜子どもプラザ】

- 【開催日時】 令和5年11月9日（木） 13：00～
【場所】 アクロス福岡 605 会議室
【議題】 (1) 応募団体プレゼンテーション・質疑応答
(2) 応募内容の審査・評価、意見交換
【出席者】 中村委員長、川上委員、植山委員、木原委員

東区三苦子どもプラザ

(応募団体K)

委員：おもちゃの消毒方法について教えてほしい。

運営団体：布のおもちゃは、口に入れて汚れたものはかごに入れてもらう。その後、洗濯機で洗濯。木のおもちゃはハセッパ水の原液を含ませた布で拭き上げる。

委員：今感じている課題やコロナ後の変化について。

運営団体：「子育てはみんなの手で」という法人の方針をもとに運営している。利用者の背景

も気にかけていきたい。保護者が1歩外に踏み出す勇気を後押ししたい。

委員：コロナ後取り組みはじめたことなどあるか。

運営団体：コロナ禍はおもちゃを半分にしたが、今は少しずつ増やしている。

委員：インスタグラムでの広報はいつから開始されたか。

運営団体：2020年からインスタグラムをはじめている。臨時休館中も、外出できない親子に向けて発信を行っていた。

委員：外国人親子に向けての取り組みはあるか。

運営団体：国籍にかかわらず同じ内容で対応している。外国語リーフレットを活用している。また、英語で会話ができるスタッフが在籍している。

(応募団体L)

委員：外国人親子に向けての対応はどのように行うか。

運営団体：日本語が通じない・読めない場合はスタッフが介入して説明を行う。

委員：地域の保育者養成校と連携し、とあるが具体的に考えていることを教えてほしい。

運営団体：近隣の看護系の学校や大学などに打診しに行きたい。

委員：地域との連携取り組みはどのように行うか。

運営団体：お祭りなど季節のイベントや、子供会などを確認して、公民館主事などを通じて参加したいと思っている。

委員：スタッフの働き方への配慮があるところが良い。

運営団体：以前勤めていた保育園よりも、現在はかなり配慮された環境で働いている。

委員：「どこでも遊べるよ」とはどのような取り組みか。

運営団体：外遊びを行うことを想定している。

総評

応募団体Kに関して

- ・ 経験が豊かであり、全般的に適切で安定した運営が行える団体と思われる。
- ・ 丁寧に来館者を見守っている様子が見える。

応募団体Lに関して

- ・ 職員の働き方については、よく考えられており、評価できる。
- ・ 現場を想定した具体的な企画提案の検討が望まれる。

東区東浜子どもプラザ

(応募団体M)

委員：東浜に応募した理由は。

運営団体：東浜は募集があった子どもプラザの中で一番コンパクトだったため。現在、他都市において中型・大型の拠点運営しているが小型のほうがオペレーションしやすいと考えた。

委員：時間設定や予約制を提案されている。福岡市はコロナ禍は予約制だったが、利用者から不満もあった。予約制についてどう考えているか。

運営団体：現在運営している大型・中型施設では、オープン前から多くの利用者が見込まれていたことや、コロナ禍であったことから予約制を導入した。たくさんのお客様に公平に利用いただくためと考えた。予約と当日受付の併用をすることで公平にたくさんの方の市民の方にお使いいただけると考える。

委員：予約制にしたほうが稼働率は上がるという考えなのか。

運営団体：安全・安心・快適な利用の観点で予約にしたほうがといいと考えている。1坪に2人程度で考えている。協議の上で利用上の定員を設けたい。

委員：2か月に1回発行の情報紙の内容は。

運営団体：毎月の行事予定とは別に、子育てに関する情報を掲載。行政のほか団体の情報や、梅雨の時期なら食中毒に関することなどを想定している。

(応募団体N)

委員：利用者から重いケースの相談などはないか。

運営団体：そこまで重い相談は無いが、気になっていた利用者の方が子どもプラザを利用するごとに明るくなっていくと嬉しい。

委員：商業施設の中という立地から、初めての方や買い物のついでに寄る方が多いと思う。そうなると行事の組み立てが難しいと思うがどのようにしているか。

運営団体：絵本コンシェルジュによる読み聞かせを行っている。0歳児向けの赤ちゃん読み聞かせや年齢制限を設けない読み聞かせなどを行っている。

委員：おもちゃの消毒については実施しているか。

運営団体：行っている。洗濯できるおもちゃは洗濯している。

委員：父親の利用は多いのか。

運営団体：休みの日は父親の利用も多い。両親で来館された後、途中で母親が抜けるなど。そのうち父親だけで連れてくることもある。

委員：こんな利用の仕方があるよ、と発信される意向はあるのか。

運営団体：実際に来られた利用者へ、次はお父さんとおいでなど話しかけるようにしている。
また、インスタグラムで、お父さんが利用している様子などを発信している。

（応募団体〇）

委員：子どもプラザの場所が分かりづらい場所にあるが、どのように利用される方を増やせるか。

運営団体：子どもプラザ自体を認知されているか、というところからリサーチを始めたい。

委員：父親を子どもプラザに呼び込む方法として何か考えがあるか。

運営団体：フードコートなど、お客様が利用される場所にチラシや二次元バーコード設置し、子どもプラザを知ってもらって、買い物ついでに寄ってもらえるようなきっかけづくりをできればと考えている。

委員：狭い空間で父親と子どもが遊ぶにあたっての工夫は。

運営団体：イベント保育の経験があるので、一緒に作って遊べるような制作物を用意するなどを考えている。制作物は家に持って帰って一緒に遊んでもらえる。

委員：外国籍の方への対応は。

運営団体：受け入れ体制は持つ。翻訳アプリを利用するなど、コミュニケーションをとりたい。

委員：講座をどのように実施するのか。

運営団体：広さに応じた定員を設けて利用いただく。利用者の少ない時間帯を把握して、その時間帯に講座を組むことを考えている。

応募団体Mに関して

- ・ 事業計画について、具体的な思いや内容が感じられなかった。
- ・ 子育て支援に対する熱意や、親へのかかわりの熱意が不足していた。

応募団体Nに関して

- ・ 継続して見守りを行っている様子が伺える。
- ・ 利用者呼び込むための積極的な働きかけが不足している印象。商業施設に入っている利点を活用できていない。

応募団体Oに関して

- ・ 商業施設内に入っている利点を活かして運営を行うことが期待できる。
- ・ 広報など様々な工夫を行って積極的に父親や祖父や祖母世代の利用者を取り込みたいという熱意がある。
- ・ 親子への継続した見守りや支援の姿勢を期待したい。